

社会技術革新学会 第1回 学術総会

現場基点学会（通称）の発足記念行事

日時：10月12日（金） 9：30～19：30

意見交換会 17：00～

会場：学術総合センター 中会議場

（東京都千代田区一ツ橋2-1-2）

営団地下鉄半蔵門線／都営地下鉄三田線・新宿線「神保町」A8,9出口

営団地下鉄東西線「竹橋」1b出口 徒歩3～5分

《開催案内》

技術革新の進展を「技術の歴史」として、また、技術革新と生活・社会の関わりを「社会の歴史」として、加えて、これらを支えた人々の思いと活動の姿を「人の歴史」として俯瞰しつつ、社会のそれぞれの現場を基点として検証する。

研究・開発、生産・販売そして経営の現場に限らず広い社会のそれぞれの現場にしっかりと軸足を置いて今日までの足跡を省み自由な論議の中で切磋琢磨しながら、知識基盤の整備や人材の育成などの役割を果たしていく拠点として、社会技術革新学会、通称「現場基点学会」の設立をした。

特別講演として NEDO 橋本正洋 企画調整部長による「日本のナショナルイノベーションシステム」を予定している。



★参加料：無料 [事前登録制]

（但し、資料実費1,000円負担）

★学会の会員以外の方も参加歓迎

参加希望の方は、①参加者氏名、②所属（勤務先など）、③意見交換会の出欠（会員、会員外とも3,000円）を明記のうえ、E-mailにて学会事務局にご連絡ください。

E-mail: sits-sokai@cbims.net

社会技術革新学会

TEL:03-5978-5018

社会技術革新学会 第1回学術総会 プログラム
2007年10月12日(金)

受付開始 9:30

1.	9:50~10:00	開会挨拶	増田 優 社会技術革新学会 会長
2.	10:00~11:00	特別講演 「日本のナショナルイノベーションシステム」	橋本 正洋 新エネルギー・産業技術 総合開発機構
3.	11:00~11:25	「噴霧乾燥における製品粉体性状要求と装置についての考察」 —液体の微粒化から見た1975年からの20年—	小金井稔元 大川原化工機株式会社
4.	11:25~11:50	「ふるい機へのニーズから見た社会の変化」 —80年の歴史を振り返って—	朝日正三 株式会社徳寿工作所
昼食休憩 (55分)			
5.	12:45~13:10	「強度の高いセメントは良いセメント?」	山岸 千丈 SCE-Net
6.	13:10~13:35	「原料転換期の塩ビモノマー技術再見」 —日本ゼオン GPA 法を中心に—	堀中 新一 SCE-Net
7.	13:35~14:00	「正常細胞培養法によるインターフェロンの開発と その後の展開」	山崎 徹 お茶の水女子大学 ライフワールド・ウオッチ センター
8.	14:00~14:25	「日本におけるクロム事業の沿革と当社の歩み」	番田知宏 日本化学工業株式会社
9.	14:25~14:50	「新エネルギー分野におけるベンチャー企業等による 技術革新活性化に向けたいくつかの試みについて」	弓取 修二 新エネルギー・産業技術 総合開発機構
休憩 (10分)			
10.	15:00~15:25	「生産現場における静電気安全管理強化に向けての 導電率の活用」	石川 諭 綜研化学株式会社
11.	15:25~15:50	「VOCガス回収装置 エコトラップ」 —環境・リサイクル営業 最前線より—	乙武 隆司 日本リファイン株式会社
12.	15:50~16:15	「地球温暖化と林業そして間接加熱式低温度差型 スターリングエンジン」	竹内 誠 株式会社サクシオン瓦斯 機関製作所
13.	16:15~16:40	「大気汚染防止への新たな挑戦」 —新しい排煙脱硫技術開発について—	道木 英之 SCE-Net
14.	16:40~16:45	閉会挨拶	
	17:00~	意見交換会 (会費制)	

題名は都合により変更になる場合があります。